

に特色を持つことが可能な「義務教育学校」とする。

次に「改築場所」につきましては市街地区域内であり、面積が確保され平坦であることを考慮し候補地を「北星町開発用地」とする。

ただし、当該地が津波、洪水の浸水区域であることから、改築場所の最終決定時には三点について十分な議論、要件を付すこととする。

(1) 津波および降雨時の浸水想定に耐えられる垂直避難可能施設とする。

(2) 屋上階に避難スペースを設定する。

(3) 建設時点での災害発生時の安全想定を確認することとし、具体的には

○防災機関との建設前の安全確保対策の協議。

○最新の災害予測による情報の確認。

○避難者（町民・児童生徒）目線での避難対策の意見交換の実施。

これらが、当該北星町開発用地を改築先とする場合の要件となります。三つ目の新しい学校づくりに関することでは次の二点を方針に盛り込みます。

一点目は町民が参画した学校施設の構想づくりです。

学校改築の構想時点から、町民、

児童生徒が参画することで、地域から信頼され、「地域とともにある学校」の実現が可能であると考え、町民参画の検討委員会を設置することとします。

二点目はレ・コード館と連携した生涯教育施設としての役割を担い地域の核となる学校づくりを目指すこととします。

以上が、教育委員会において決定した整備方針です。

この方針については、町長部局との総合教育会議において検討委員会からの答申を確認し、教育委員会での決定に至っております。

なお、具体的な改築構想につきましては、今後改めて協議を開始することとなりますが、現段階では新冠小学校が改築目安の築60年を迎える令和17年度開設に向けた協議を進めることで考えております。

2 中学校部活動地域展開への取り組みについて

これまで国は、中学校における部活動は、急激な少子化および教員の働き方改革を見据え、子ども達が将来にわたり継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会が確保・充実できるよう令和5年度から7年度までを「地域移行改革推進期間」とし、取り組みを呼びかけてきました。さらに今年度から令和13年度まで

の6力年を「地域展開改革実行期間」として方針に基づき進めているところであります。

新冠町は、令和5年度に協議会設立に向けた準備段階の会議を設置し、令和6年度においてはスポーツ団体、文化団体の各関係者、中学校保護者代表などを委員として構成する部活動地域移行検討協議会を設置し、昨年度まで協議を継続しました。

協議会では、各団体でも指導者や関係者の人材不足が生じていることから、部活動をそのまま受け入れることは難しい状況であること、急激に進む少子化の中、新冠中学校単独での団体スポーツにおけるチーム編成が困難な状況に差し掛かっていることなどの課題を共有しております。

一方で、試行的に土日を含めた休日の地域展開を視野に野球、卓球で指導のサポートとしてそれぞれの団体から部活動に参画する取り組みも行っています。

昨年度末に開催された協議会では、今年度の取り組みとして、引き続き各団体と部活動の交流を行うほか、中学生対象のスポーツ教室の開設などを計画しています。

また、国の部活動地域展開に向けたガイドラインに則った「新冠町部活動地域展開推進計画」を策定し、計画の中で地域クラブ認定制度を創設することとしています。

部活動地域展開を進める上で、近隣町、とりわけ一部で先行した取り組みが行われ、生活圏として隣接する新ひだか町との協議も進めていく予定であります。

一方で既存の部活動は別として、とりわけ新冠町の特徴や独自性などを意識した新たな視点のもと地域展開を目指し、新冠ホロシリ乗馬クラブと乗馬スポーツ少年団とが連携した「馬の町」ならではの青少年教育の一環とした「新冠中学校馬術部」を4月に設置しています。

また、静内高校において同クラブを拠点として新たに設立された静内高校馬術部とも連携やつながりを形成する中でその魅力を高めていきたいと考えています。

以上、中学校部活動の地域展開に向けたこれまでと今年度の取り組みについて説明いたしました。次年度に向けた推進計画につきましては、骨子案を策定し10月頃には、小・中学校保護者などへの説明会を実施し、次年度に向けた体制を整えたいと考えております。

次年度全ての部活動が一斉に地域展開できる環境は整えられませんが、地域展開が可能な部活動については順次開始していく意向であります。よろしく願います。

花を育て思いやりの心を育む

新冠小学校で「人権の花」運動



6月4日、日高人権擁護委員協議会は、新冠小学校で「人権の花」運動を実施しました。この活動は、花を育てることを通して命の大切さや思いやりの心を育むことを目的に、毎年、日高管内の小中学校で実施されています。当日は、人権擁護委員から花の植え方を教わった1・2年生の児童が、二人一組になってマリーゴールドをプランターに植えました。

100歳おめでとうございます

長寿と末永い健康を祈念



6月10日、作田豊子さんが100歳の誕生日を迎え、町長から長寿祝金が贈られました。贈呈式は、北星町の自宅でご家族に見守られるなか行われ、町長がお祝いの言葉を贈ると、作田さんは思わず感極まる場面もありました。

なお、国からは9月に内閣総理大臣の祝状と記念品の銀杯が贈られる予定です。



日高管内陸上大会で

総合2連覇を達成

6月11日、新ひだか町の静内第三中学校で日高管内中学校陸上大会が開催され、新冠中学校から39人が出場しました。

大会では男子14種目、女子11種目の部で3年連続優勝、女子の部で準優勝となり、総合でも2年連続の優勝を果たしました。

また、男子最優秀選手には、100m、200m、4×100mリレーで優勝した3年生の奥山翔太さんが選ばれました。

元気な声で登校を後押し

新冠小学校PTAあいさつDAY



6月19日、新冠小学校で今年度1回目の「PTAあいさつDAY」が行われました。この取り組みは、毎月1回、保護者が登校する児童を迎えてあいさつを交わすもので、今年で3年目を迎えます。

当日は保護者が「おはようございます」と声を掛けながら児童を迎えました。途中からは児童も自主的に加わり、一緒に元気なあいさつを交わしました。

議員在職15年の但野裕之議員が

北海道町村議会議長会表彰を受賞



このたび、新冠町議会の但野裕之議員は、平成23年5月から15年間にわたり町議会議員として、地域の振興発展および住民福祉の向上に尽力された功績が認められ、北海道町村議会議長会表彰を受賞しました。

これを受け、6月19日の第2回定例会開会前に伝達式が行われ、氏家良美議長から但野議員へ表彰状が伝達されました。